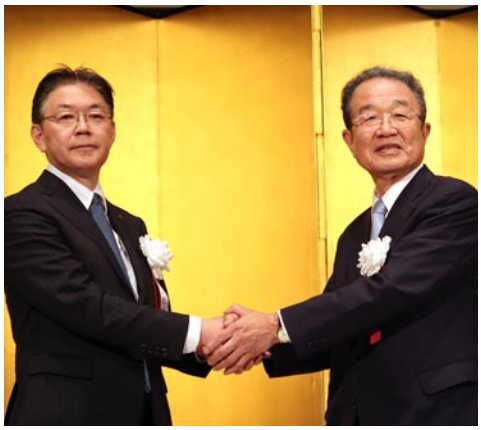
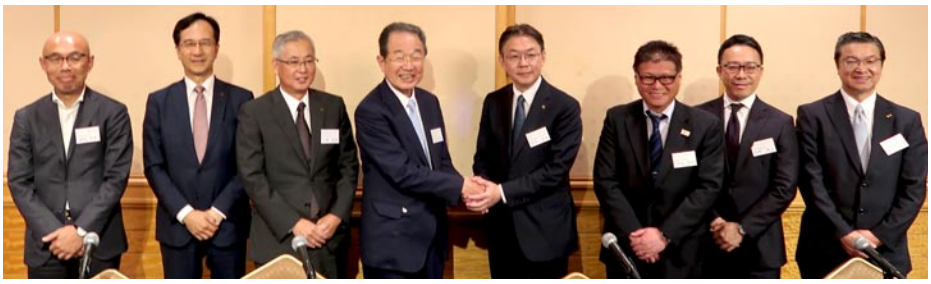
FoodNavigation
http://www.foodnavigation.com
2023年07月05日
NO.FNJ2023 ー試読版
Provided By Food Navigation Japan

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
新名誉会長にヤオコー川野氏
新会長にライフコーポレーション岩崎氏



▲岩崎新会長（左）、川野新名誉会長（右）。



▲（左から）副会長サミット㈱代表取締役社長 服部哲也氏、副会長㈱平和堂代表取締役社長執行役員 平松正嗣氏（新任）、副会長㈱マルエツ代表取締役会長 古瀬良多氏（新任）、名誉会長㈱ヤオコー代表取締役会長 川野幸夫氏（新任）、会長㈱ライフコーポレーション代表取締役社長執行役員 岩崎高治氏（新任）、副会長㈱万代代表取締役社長 阿部秀行（新任）、副会長㈱ヤオコー代表取締役社長 川野澄人氏（新任）、副会長㈱ラルズ代表取締役社長・COO 猫宮一久氏（新任）

一般社団法人日本スーパーマーケット協会は2023年6月30日（金）、同協会役員人事を発表。新名誉会長に㈱ヤオコー代表取締役会長の川野幸夫氏、新会長に㈱ライフコーポレーション代表取締役社長執行役員の岩崎高治氏が就任した。今後は川野名誉会長・岩崎会長体制での協会運営となる。

また、副会長にはサミット㈱代表取締役社長 服部哲也氏、㈱平和堂代表取締役社長執行役員 平松正嗣氏（新任）、㈱マルエツ代表取締役会長 古瀬良多氏（新任）、㈱万代代表取締役社長 阿部秀行（新任）、㈱ヤオコー代表取締役社長 川野澄人氏（新任）、㈱ラルズ代表取締役社長・COO 猫宮一久氏（新任）が就任した。

川野新名誉会長および岩崎新会長は、同協会2023年度通常総会の記者会見および記念パーティーにおいて、次のように就任の挨拶をした。

川野　デジタル技術の急速な発達により、世の中が大きく変化する中、当協会も早く若返りたいと考えていた。スーパーマーケットは変化適応業であり、各企業はお客様の変化に合わせ、また、お客様の変化を主導するような形で提供する商品やサービスを変えていく必要がある。よって、現場に一番近い若い方々が中心となり協会を運営していくことが最善だと考えている。さらに、コロナ禍が様々な変化を加速させ、協会も待ったなしでの変化が求められている。まずは、会長である私が若い世代にバトンタッチをしなければいけない。今回、私より二回りも若いライフコーポレーションの岩崎さんにご納得をいただいて

名誉会長
川　野　幸　夫氏

㈱フードナビゲーションジャパンの許可なく当該掲載記事及び写真等の複製・転載・変更・譲渡・販売・出版・当媒体を利用しての営業活動等、著作権法および当利用規約に反する行為を禁ずる。　Copyright（C）2011 Food Navigation Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.

の交代となる。岩崎さんはこの業界において、欠くことのできない大変優れた人材である。岩崎さんのリーダーシップの下に、この流通業界の益々の発展を願っている。

会　長
岩　崎　高　治氏

岩崎　川野会長からは以前から何回か当協会の会長就任のお話をいただいていた。今回の就任の条件として、川野会長が名誉会長としてご指導いただくということをお願いした。私一人ではできることは限られており、皆さんと力を合わせて業界全体を盛り上げていきたい。

当協会は今から24年前の1999年7月に設立した。設立にあたっては、設立の趣旨にご賛同いただいた方々から多大なるサポートをいただき、何とか当協会が設立し、発起人であるライフコーポレーションの創業者である清水名誉会長が本当に喜んでいたことを今でも覚えている。設立の趣旨では『会員企業相互の発展を通して、スーパーマーケットの健全な発展およびわが国の食料品流通機構の近代化・合理化を促進し、ライフラインとしての食品の安定供給を図るとともに、より豊かな国民生活の実現に寄与することを目的とする』とあり、この原点に立ち戻って、まずは会員企業相互の成長・発展のために、通常会員76社・賛助会員415社、計491社の皆様のご意見に真摯に耳を傾け、ご要望をしっかりと拾い上げるところから会長の仕事を始めたい。これが優先順位の一番目といえる。その上でスーパーマーケットの健全な発展、食料品流通機構の近代化・合理化、ライフラインとしての食品の安定供給にまい進したいと考えている。しかし、この実現のためには喫緊の課題が3つある。

一つ目は、物流2024年問題。この課題に関しては競争領域ではなく協調領域であると考えている。協会として力を合わせて取り組んでいきたい。

二つ目は、人手不足の問題。コロナ行動制限も解除され、個人消費に明るさが戻ってきた。それに反比例するように現場での人材不足が大きな問題となっている。具体的には収入の壁の問題と外国人材活用の問題の2点が大きな問題といえる。まずはこの2点に関して当協会として意見を集約し、皆様に発信し協力を求めていきたい。

三つ目は、環境問題。今や環境問題は規模の大小や業種、上場・非上場を問わず、経済活動を行う団体にとっては取り組まなければいけない課題である。環境問題の対応は、競争力がないとも言えないが、その多くは協業可能な領域だといえる。幸い、当協会の加盟企業で先進的な取り組みを実行している企業があり、成功事例を共有し、知恵を出し合って協会全体で取り組んでいきたい。

㈱フードナビゲーションジャパンの許可なく当該掲載記事及び写真等の複製・転載・変更・譲渡・販売・出版・当媒体を利用しての営業活動等、著作権法および当利用規約に反する行為を禁ずる。 Copyright（C）2011 Food Navigation Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.